Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE_Sapporo2021v1.0　使用評価ソフト：CASBEE札幌2021（ver.1.0）

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)月寒中央通10丁目マンション(A棟) 新築工事	階数	地上9階地下1階
		構造	RC造
建設地	札幌市豊平区月寒中央通10丁目195-14, 195-1の内	平均居住人員	81 人
		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年5月29日
敷地面積	1,717 ㎡	作成者	
建築面積	571 ㎡	確認日	
延床面積	4,228 ㎡	確認者	

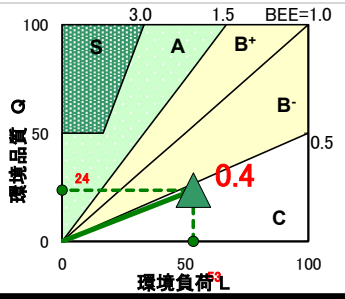
1-2 外観

※ここに外観パースを貼り付けてください。

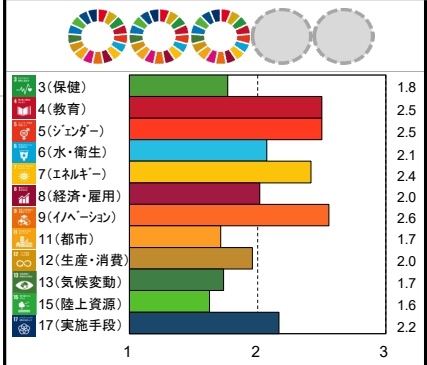
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.4 ★ C

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★

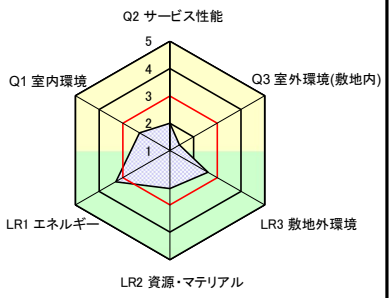


2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果



* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



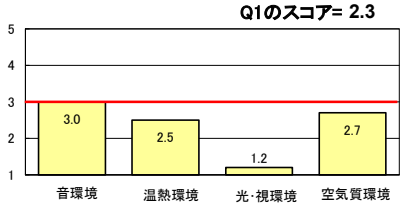
2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm]	0.88
ZEB／ZEH-Mランク	非該当

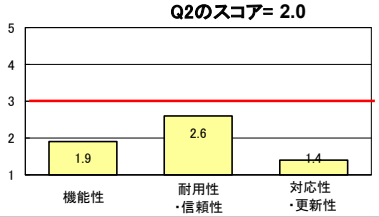
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 1.9

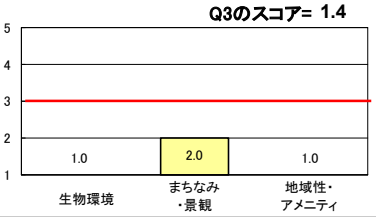
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.0

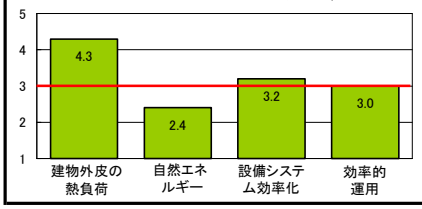


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 1.4

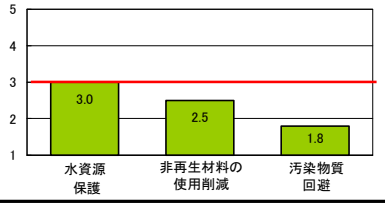


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.8

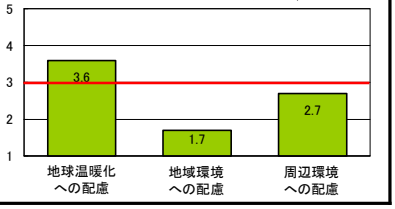
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.3



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.4



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.6



3 設計上の配慮事項

総合	A 省エネルギー

B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
特になし	特になし	特になし

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率
■環境品質Q＝25×(Qのスコア-1)、環境負荷L＝25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0
(仮称)月寒中央通10丁目マンション(A棟) 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュア CASBEE_Sapporo2021v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							**1.9**
Q1 室内環境				**0.40**		-	**2.3**
1 音環境			**3.0**	0.15	**3.0**	1.00	**3.0**
1.1 室内騒音レベル		—	**3.0**	0.45	**3.0**	0.50	
1.2 遮音			**3.0**	0.45	**3.0**	0.50	
1 開口部遮音性能		—	3.0	0.89	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		—	3.0	0.11	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		—	**3.0**	0.10	**1.0**	-	
2 温熱環境			**2.2**	0.35	**2.7**	1.00	**2.5**
2.1 室温制御			**2.3**	0.50	**3.3**	0.50	
1 室温		—	3.0	0.51	3.0	0.63	
2 外皮性能	省エネ	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	2.0	0.31	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		—	1.0	0.18	-	-	
2.2 湿度制御		—	**1.0**	0.20	**1.0**	0.20	
2.3 空調方式		—	3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			**1.2**	0.25	**1.1**	1.00	**1.2**
3.1 昼光利用			**1.8**	0.32	**1.4**	0.30	
1 昼光率		—	1.0	0.55	1.0	0.50	
2 方位別開口		—	-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備	省エネ	—	3.0	0.45	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			**1.0**	0.24	**1.0**	0.30	
1 昼光制御	省エネ	—	1.0	1.00	**1.0**	1.00	
3.3 照度		—	**1.0**	0.14	**1.0**	0.15	
3.4 照明制御		—	**1.0**	0.30	**1.0**	0.25	
4 空気質環境			**2.7**	0.25	**2.7**	1.00	**2.7**
4.1 発生源対策			**3.0**	0.55	**3.0**	0.63	
1 化学汚染物質		建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積)に採用している。	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気			**2.7**	0.35	**2.3**	0.38	
1 換気量		建築基準法(シックハウス対応含む)および学校環境衛生基準を満たす換気量の1.2倍となっている。	3.0	0.43	3.0	0.33	
2 自然換気性能		—	1.0	0.13	1.0	0.33	

	3	取り入れ外気への配慮		―	3.0	0.43	3.0	0.33	
	4.3 運用管理				1.0	0.10	-	-	
	1	CO_2の監視		―	1.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御		―	1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					_	0.30	-	-	2.0
1 機能性					1.3	0.40	2.6	1.00	1.9
	1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60	
	1	広さ・収納性		―	-	-	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		―	-	-	3.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		―	1.0	1.00	-	-	
	1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
	1	広さ感・景観		―	-	-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		―	-	-	-	-	
	3	内装計画		―	1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3 維持管理				2.0	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		―	2.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		―	2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.6	0.30	-	-	2.6
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		―	3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		―	3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		―	3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	―	3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	11年以上～20年未満	3.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	―	3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	―	3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	―	3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性				1.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		―	1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		―	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		―	1.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		―	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		―	1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					1.4	0.30	1.5	1.00	1.4
	3.1 空間のゆとり				1.0	0.15	1.0	0.50	

1	階高のゆとり		―	1.0	0.45	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		―	1.0	0.55	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			―	2.0	0.15	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.4	0.71	-	-	
1	空調配管の更新性		―	1.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		―	1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		―	1.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		―	1.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		―	1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		―	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				_	0.30	-	-	1.4
1 生物環境の保全と創出		緑化	―	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化	―	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.0	0.30	-	-	1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		雪処理	―	1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		省資源 緑化	―	1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	2.8
LR1 エネルギー				_	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= 0.82 品確法= 等級4 標準入力法	4.3	0.20	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用		省エネ	―	2.4	0.10	-	-	2.4
3 設備システムの高効率化		省エネ	BEI= 0.88 ―	3.2	0.50	-	-	3.2
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	0.48	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ	―	3.0	1.00	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ	―	-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	0.52	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ	―	3.0	1.00	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ	―	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				_	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			―	3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		―	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		―	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		省資源	―	3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源	―	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	―	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	―	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源	―	2.0	0.10	-	-	

	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源	ー	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				1.8	0.20	-	-	1.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			ー	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				1.3	0.70	-	-	
	1	消火剤	省資源	ー	1.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	省資源	ー	1.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	省資源	ー	2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					_	0.30	-	-	2.6
1	地球温暖化への配慮		省資源	ー	3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮				1.7	0.33	-	-	1.7
	2.1 大気汚染防止		省資源	ー	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	ー	1.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	省資源	ー	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		ー	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		ー	1.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	ー	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮				2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		ー	3.0	0.33	-	-	
	2	振動		ー	3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		ー	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		ー	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		ー	1.0	-	-		
	3	日照阻害の抑制		ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		ー	1.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		ー	3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE_Sapporo2021v1.0　　■使用評価ソフト： CASBEE札幌2021（ver.1.0）

1 建物概要

建物名称	（仮称）月寒中央通10丁目マンション（A棟） 新築工事	BEE	0.4	BEEランク	C
建物用途	事務所,集会所,集合住宅,等				
延床面積	4,227.6 ㎡				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目

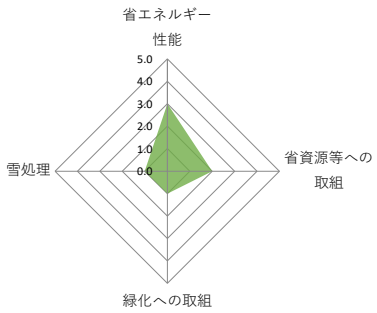
省エネルギー ★★★☆☆

省資源等 ★★☆☆☆

緑　化 ★☆☆☆☆

雪 処 理 ★☆☆☆☆

レーダーチャート



★1＝スコア（最低点～最高点）20%以下
★2＝スコア（最低点～最高点）20%～40%以下
★3＝スコア（最低点～最高点）40%～60%以下
★4＝スコア（最低点～最高点）60%～80%以下
★5＝スコア（最低点～最高点）80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー	（ 最高点 26.7	最低点 8.2 ）			合計	16.1点	／26.7点
Q1 温熱環境	スコア	1.7	／2.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.4	／4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.2	／4.3	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0	／2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.4	／10.0
				LR1 効率的運用	スコア	2.4	／4.0
B 省資源等	（ 最高点 23.6	最低点 7.6 ）			合計	11.2点	／23.6点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.5	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.5	／1.8
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.6	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	／4.4
C 緑化	（ 最高点 15.4	最低点 3.1 ）			合計	4.3点	／15.4点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	／4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	／6.1				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.3				
D 雪処理	（ 最高点 3.0	最低点 0 ）			合計	0.0点	／3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■重点項目の**最高点は、各評価項目でレベル5**で評価された場合の点数
■重点項目の**最低点は、各評価項目でレベル1**で評価された場合の点数